

会派代表質問で提言し、事業化決定 保育士不足解消へ、 掘り起こし・育成が急務

矢崎提言

県議会報告



【Profile】町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選。2015年4月3選を果たす。総合企画水道常任委員会、党千葉県議会議員会財務会長、党千葉県連組織委員長。

<http://www.yazaki-kentaro.jp>

◆千葉県議会議員矢崎けんたろう議会報告 Vol.35

待機児童問題解消の壁として、保育士不足が徐々にその高さを増しています。6月定例会で、会派代表質問に立ち、保育士不足の課題解決に向けた政策提言をし、9月議会に「千葉県潜在保育士掘り起こし事業」が提出されました。登録をしながら就労していない保育士の掘り起こしを図るために実態調査が行われます。掘り起こしと合わせ、育成にも、早急な取り組みが必要です。

◆◆待機児童にも影響

保育士が足りない

全国的に保育士が不足しています。厚生労働省の平成27年の集計に

よると、保育士の有効求人倍率は千葉県で1・9倍、約2人の求人に対し、1人の求職者しかいない状況です。平成29年度末までに、全国で約7万5千人規模の保育士が不足

すると推計されており、今後更に保育人材を確保しにくくなること予測されています。

すでに千葉県内の保育現場にも影響が出ています。平成28年4月時点で、保育士が確保できずに、定員まで児童を受け入れることができなかつた保育所が60、それにより影響を受けた待機児童は推定2000人、全体の14%にのぼっています。

◆◆保育人材確保のために

「掘り起こし」と

「育成」の二本の柱

今後ますます、保育士の確保が、保育行政の重い課題となることは、

保育士不足の影響

有効求人倍率 **1.88倍**

(平成27年9月)

保育士不足により児童を受け入れできず空気が生じた保育所

60施設

影響を受けた待機児童

推定 **200人**

14%

待機児童数1460人

(平成28年4月現在)

明白であり、危機感を持って取り組んでいく必要があります。代表質問では、県に保育士として登録されている人数が、約5万4千人存在しているのにも関わらず、実際に就労しているのは、1万4千人程度しかいないことを指摘。まずは、この「潜在保育士」に対し、再就職の情報提供や、復職の支援などを行う。掘り起こしを図るよう要望しました。

県はすでに、「ちば保育士・保育所支援センター」を設けて、同様の取り組みを行っています。その周知を図るのはもちろんのこと、よりニーズに沿った対応を行い、ひとりでも多くの人材確保が必要です。

9月議会に提出された「千葉県潜在保育士掘り起こし事業」は、県内約5万4千人の保育士登録者を対象に、就職意識・就労状況等の調

査を実施。保育士人材バンクの登録促進や就労実態、意識に合わせた就職支援が行われることとなります。

更に、保育士確保の施策として、5年以上県内で保育士として勤務すれば、返済不要となる奨学金制度も新たに事業化されました。

長期的に人材を確保するためには、「育成」が重要な柱となります。これから就労する若者に限らず、子育てが一段落した世代やリタイヤ世代も対象とし、資格取得の支援を広く行っていくことを求めてまいります。

◆◆保育士に選ばれる行政こそ抜本的対策

厚生労働省の調べでは、保育士として就労しない理由として、保育士の「所得の低さ」及び、「正規雇用の少なさ」があげられています。保育士の所得レベルは、その拘束時間の長さにも関わらず、幼稚園教諭より低く、公立保育園でも正規職員は半数程度(全国平均)です。待遇改善のために県としてできることはないのか、検討していく必要があります。



より良い千葉への一歩



「総合企画水道 常任委員会」

総合企画水道常任委員会で、付託された議案にからみ、質疑を行いました。

より良い千葉の実現には、具体的な一歩が大切です。以下、抜粋で内容をご報告します。

◆◆パスポートについて パスポート事務の 移譲拡大

市で昨年7月の新庁舎オープンと共にはじまった、パスポートの申請・受領の事務移譲。浦安が先駆けとなった事業です。

先駆けとはいえ、以前から早期の移譲を市は求めており、私も再三要望した経緯もあり、「ようやく」実現したと言っべきかもしれません。県民にとっては、利便性が増すこ



▲浦安市新市庁舎に開設されたパスポート申請窓口

とですので、他市にも移譲を進めるべきですが、平成29年中の移譲を目指し、協議中の市町村はわずか6団体にとどまっています。県は、平成30年度までに全市町村への移譲を計画しており、実現に向けて、積極的な働きかけを行うよう提言しました。

◆◆総合計画の進行管理について 第三者の評価の 反映が必須

県では、毎年総合計画の38の施策項目に関する進行状況を評価し発表しています。平成27年度は、「進展」10、「概ね進展」14、「一部の進展」14、という結果。3年連続で「一部の進展」という評価が続く施策もあり、その要因を確認しました。

そもそも、進行管理の根拠となる政策評価は、自己採点によるものであり、第三者の意見を積極的に取り入れて行くことが重要であると指摘。また、政策企画課も、担当部署の評価を取りまとめるだけでなく、しっかりとチェックを行うよう求めました。

◆◆京葉線・りんかい線相互直通について
複雑な線化をしなくても、相互直通運転は可能
千葉の可能性を最大にするために、もともと有効な施策のひとつである、京葉線・りんかい線の相互直通運転。それを実現する手法のひとつとして、



京葉線の複雑な線化に関する調査が行われました。結果、整備費用が多額になることから、採算を凶く取り組んで行きます。京も、「必ずしも複雑な線化をしなくとも実現可能ではないか」と述べ、実現の方法を引き続き検討して行くとのこと。世界有数の観光スポットTDRや五輪会場となる幕張、外房線の上総一ノ宮駅を一本で結ぶ相互直通運転。あきらめることなく、粘り強く取り組んで行きます。

◆◆◆矢崎コラム

格差の連鎖を断ち切る鍵

家庭間の経済力の格差により、児童生徒の学力レベルに差が生じる。教育格差。格差の連鎖につながることも言われており、是正に向け行政主導の取り組みが必要とされています。

千葉県では、教育委員会に「学校支援地域本部」を設け、地域と共に歩む学校づくりの推進を行っています。この取り組みは、「経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分身につけていない、中学生等を対象とした原則無料の放課後の学習支援（千葉直ホムページ）で平成27年より浦安市、松戸市、酒々井町の2市1町ではじまっています。

格差社会の指標となる相対的貧困率。国民の年間所得の中央値（所得額で順に並べた中間の値の半分を「貧困線」とし、それに

家庭の経済力に関わらず、すべての子どもたちに、平等に学びの機会があるように、格差社会と断ち切る鍵をつくることは、行政の責任であり国の義務です。「地域未来塾」は、こうした背景から生まれた文部科学省主導の施策で、「学習機会の提供による貧困の負の連鎖を断ち切ることを目指しています。

その目的を達成するためには、受験対策など、教育内容の充実が必須です。未来塾を千葉全県に拡大するとともに、進学支援につながるよう、成果を確認してまいります。



県政に
あなたの声を
県政相談受付

Web <http://yazaki-kentaro.jp>

Mail info@yazaki-kentaro.jp

Tel 047-720-0929

Fax 047-720-0939



アドレスや電話番号読み込み

矢崎けんたろう事務所 〒279-0022 浦安市今川 4-2-2-1